

令和6年10月1日

第3次省エネ・エコオフィス実践プラン21

（羽生市地球温暖化対策実行計画・事務事業編）の実施状況等について

1. 令和5年度の総括

令和5年度における本市の事務事業に係る温室効果ガス排出量は、8,027t-CO₂（前年度比▲30t-CO₂、▲0.4%）となりました。

令和5年度は、一部施設の照明LED化を実施したことや暖冬により冬季の暖房の使用が抑えられたことから、「電気の使用」や「灯油」等の項目の活動量が減少したと考えられます。

令和12年度の削減目標の達成に向け、引き続き省エネ・節電に取り組むことを基本としつつ、公共施設における再生可能エネルギーの導入や環境配慮契約を推進し、温室効果ガス排出量の削減に努めてまいります。

【温室効果ガス排出量の推移（年度別）】（単位：t-CO₂）

	H25 基準年度	R4	R5 今回算定	R12 目標
排出量	8,641	8,057	8,027	4,666
対基準年度増減量（増減率%）		▲584（▲6.8）	▲614（▲7.1）	▲3,975（▲46）
対前年度増減量（増減率%）			▲30（▲0.4）	

2. 原因別活動量及び温室効果ガス排出量とその要因分析

【原因別（活動の種別）活動量（エネルギー使用量など）】

原因 （活動の種別）	単位	H25 基準年度	R4	R5 今回算定	対前年度 増減量	対前年度 増減率%
燃料の使用	ガソリン	L	46,069	37,685	5,191	16.0
	灯油	L	165,624	140,307	▲3,342	▲2.3
	軽油	L	22,442	20,282	▲3,709	▲15.5
	A重油	L	381,000	389,000	▲21,182	▲5.2
	LPG	kg	21,814	17,541	1,027	6.2
電気の使用	Kwh	13,409,448	13,504,334	13,440,671	▲63,663	▲0.5
一般廃棄物の焼却	t	13,796	13,342	12,626	▲716	▲5.4
その他	自動車の走行	km	630,129	444,460	11,348	2.6
	浄化槽によるし尿等の処理	人	4,089	3,588	0	0.0
	下水処理	m ³	33,997	25,990	▲2,420	▲8.5
	カーエアコンの使用	台	128	130	3	2.4

【原因別（活動の種別）温室効果ガス排出量】（二酸化炭素に換算、単位：t-CO₂）

原因（活動の種別）		H25 基準年度	R4	R5 今回算定	対前年度 増減量	対前年度 増減率%	R5 構成比%
燃料の使用	ガソリン	107	75	89	14	18.7	1.1
	灯油	412	358	349	▲9	▲2.5	4.4
	軽油	58	62	50	▲12	▲19.4	0.6
	A重油	1,033	1,111	1,054	▲57	▲5.1	13.1
	LPG	65	50	53	3	6.0	0.7
電気の使用		6,591	6,051	6,096	45	0.7	75.9
一般廃棄物の焼却		248	240	227	▲13	▲5.4	2.8
その他		127	110	109	▲1	▲0.9	1.4
計		8,641	8,057	8,027	▲30	▲0.4	100

【主要な項目の要因分析】

『燃料の使用』のうち『A重油』の項目では、暖冬の影響や省エネ意識により機器への使用量を抑えられたことにより、排出量が各項目のうち最も減少しています。

『電気の使用』の項目では、活動量自体は減少したものの、一部の施設の電気契約において、電気事業者の誤登録がされていたものを修正したところ、修正後の事業者の排出係数が比較的高く、排出量では増加しています。

3. 今後の措置・取組

本市の温室効果ガス排出量のうち、約76%を占める『電気の使用』を削減することが特に重要となります。今後は、引き続き以下の取組を推進します。

① ハード面での有効な取組

- ・施設の統廃合による適正配置
- ・公共施設の照明LED化をはじめとした省エネ化改修
- ・再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入

② ソフト面での有効な取組

- ・排出係数の少ない再生可能エネルギー由来の電力を使用する環境配慮契約の推進